

こんなにやさしい理論が、こんなに幅広い実用展開を生む

主 催 : 一般社団法人日本ゴム協会研究部会 “エラストマーの補強研究分科会”

協 賛 : 日本化学会、高分子学会、自動車技術会、日本塑性加工学会、石油学会、繊維学会、
(予定) 日本金型工業会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、
日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会、
日本トライボロジー学会 (順不同)

日 時 : 2019年10月2日(水) 9:45~17:00

会 場 : 東部ビル 5階会議室 (東京都港区元赤坂 1-5-26 Tel: 03(3401)2957)

受 講 料 : 日本ゴム協会会員・協賛団体会員 22,000円 日本ゴム協会学生会員 5,000円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,000円 (60歳以上の正会員) 会員外 30,000円

税別表記。受講料にテキスト代を含みます。

申込方法 : 弊会ホームページ (<http://www.srij.or.jp/>) よりお申し込みください (定員 60名)。

送金方法 : 銀行振込 (三井住友銀行 日比谷支店 普通 7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問 合 先 : 一般社団法人日本ゴム協会 第259回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル1階

Tel: 03(3401)2957 FAX: 03(3401)4143 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

9:45~9:50 開会のあいさつ

エラストマーの補強研究分科会主査 深堀 美英

9:50~10:50 ゴムの粘弾性の話

ゴムの大変形挙動(応力-ひずみ挙動)の現象論と分子論、および線形粘弾性の基礎について、実験データとの比較を多用して説明する。

【座長】信州大学 野口 徹

京都工芸繊維大学 浦山 健治氏

10:50~11:50 ゴムによる振動制御の話

制振・防振の基礎について解説すると共に、ゴムの特性(周波数・温度・ひずみ振幅等の依存性)をどのように利用するかについても平易に説明する。

上智大学 佐藤 美洋氏

12:40~13:40 ゴムの表面と構造解析の話

原子間力顕微鏡をベースにしたナノ触診技術によって、フィラー充填ゴムの界面領域の粘弾性やひずみ状態の応力ネットワークの存在が明らかになりつつある。これまでに提案されたモデルなどと比較をしながらゴムの内部構造の謎に迫る。

【座長】京都工芸繊維大学 浦山 健治

東京工業大学 中嶋 健氏

13:40~14:40 ゴムの破壊と疲労の話

ゴムの破壊や疲労では、クラック進展の有無を系内に蓄えられたひずみエネルギーの解放という概念で捉える。なぜこのような取扱いが必要か、どのように役立つかを多くの事例で紹介する。

【座長】上智大学 佐藤 美洋

14:55~15:55 ゴムの摩擦と摩耗の話

ゴムなどの柔らかい材料は一般に知られている摩擦の法則には従わない。ここではゴム特有の摩擦摩耗現象の基礎から応用に関して解説する。

金沢大学 岩井 智昭氏

15:55~16:55 ゴムの構造と補強の話

構造特定の手法が少ないゴム材料を、顕微鏡観察やパルス NMR 法による界面分析などから得られる情報を総合してゴムの構造と補強の関係について説明する。

信州大学 野口 徹氏

16:55~17:00 閉会のあいさつ

エラストマーの補強研究分科会副主査 佐藤 美洋

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。